



今回私は継続教育（CPD）について個人的な意見として書かせていただきます。

CPDとは「技術者の継続教育」の意味で（Continuing Professional Development）（コ  
ンテニューウイング プロフェッショナル デベロップメント）の略のようです。

生涯にわたり技術者として社会に貢献するために建設関係の資格認定団体が実施し  
ており、資格取得後の継続的な教育プログラムや講習会等を提供し、技術者が研鑽に要  
した時間を単位に変換している制度です。

現在多くの資格が更新条件としCPD単位を年間50単位程度必要となっています。

昨年は対面での講習会等は開催されず、今年からリモートによる講習会や講座が増え、  
先日1年半ぶりの対面による講習会に参加してきました。

対面での講習会は移動時間も費用も掛かることから、リモートでより多くの講習プロ  
グラム等がより手軽に受講できるとありがたいと感じています。

これからも継続教育を行い良質な社会資本整備の一端を担い地域社会に貢献して行  
きたいと思います。

写真は11月12日に山形市で行われた日本技術士会東北本部山形県支部主催の「令和  
3年度 技術教養講座」です。